

「津波浸水・地震動被害プロジェクトチーム」の設置について

1 目的

三連動地震対策を進める上で、その根拠となる被害想定が必要である。
このため、「地震津波減災対策検討委員会」の下に当該プロジェクトチームを設置し、次の検討を行う。

(1) 津波高暫定値の想定

国において三連動地震の検討がようやく始まったところであるが、緊急的に対策が必要なものの根拠となる「津波高暫定値」を国の想定を待つことなく検討する。

(2) 地震津波被害の想定

現行の被害想定では、国と県に大きな差があることから、国の検討に対し、提言すべき内容をまとめるとともに、国から出された震源モデル等を活用し、関係組織と連携しながら最終的な被害を想定する。

2 委員名簿(案)

(50音順)

所 属	職	氏 名	備 考
港湾空港技術研究所	上席研究官	有川 太郎	海岸工学
徳島大学大学院	教 授	渦岡 良介	地盤工学
徳島大学大学院	教 授	大角 恒雄	地震工学
独立行政法人海洋研究開発機構	プロジェクト リーダー	金田 義行	地震学 注1)
関西大学	教 授	高橋 智幸	水災害
徳島大学大学院	教 授	中野 晋	海岸工学
京都大学 防災研究所	教 授	平石 哲也	水工水理学
徳島大学	名誉教授	村上 仁士	海岸工学 注2)
徳島大学大学院	教 授	村田 明広	構造地質学

注1)内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」委員

注2)関西広域連合「関西広域防災計画策定委員会」委員

「広域応援専門部会」委員、「被害想定専門部会」委員